

## 中野市行政改革推進委員会 会議録

|            |   |
|------------|---|
| <b>日 時</b> | 令和元年7月29日（月） 15：02～16：28  |
| <b>会 場</b> | 市役所本庁舎 会議室52.53   |
| <b>出席者</b> | <p><b>【委員】</b><br/>         小林治男、工藤二六子、黒崎春美、後藤治志、東英司、池田眞貴子、<br/>         小林日出夫、野口暢子、市村義明、中村幹夫、富田貴江、武田隆子</p> <p><b>【市】</b><br/>         副市長、総務部長、健康福祉部長、子ども部長、くらしと文化部長、経済部長、<br/>         建設水道部長、消防部長、会計管理者、教育次長、議会事務局長</p> <p><b>【事務局】</b><br/>         政策情報課長、行政管理係長、堀米副主幹</p> |
| <b>欠席者</b> | 平林次光委員  |
| <b>次第</b>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会（13名中12名出席、過半数の出席者有りのため会議成立）</li> <li>2 副市長あいさつ</li> <li>3 会長の互選について</li> <li>4 協議事項<br/>             (1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成30年度実績報告書について</li> <li>5 その他</li> <li>6 閉会</li> </ol>  |
| <b>資料</b>  | <p>資料1 中野市行政改革推進委員会条例、委員名簿</p> <p>資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成30年度実績報告書</p> <p>資料3 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方</p>  |

1 開会 (総務部長)

2 副市長あいさつ

3 会長の互選について (仮議長：副会長)

会長に中野市区長会の小林治男委員が互選される。

4 協議事項 (議長：会長)

(1) 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成30年度実績報告書について

【事務局】

(資料2、資料3を政策情報課長より説明)

資料2 第3次中野市行政改革集中改革プランの平成30年度実績報告書

3ページ「3 後期高齢者医療保険料の収納率の向上」の反省・課題、改善点等の訂正について 現年度は0.1%下回り→現年度は同率に訂正

20ページ「24 豊田牧場の譲渡」について 差替えあり

資料3 行政改革、その他市政運営に対する意見・提言等に対する市の考え方

質問、意見等

【委員】

35ページ「46 小学校の跡地利用」について、サウンディング型市場調査とは。現在の件数は。

【事務局】

小学校の利活用について、民間事業者から広く意見や提案を求め、対話を通じてアイデア及び市場性を把握する調査のことである。現時点での申し込みはない。

【委員】

地域の拠点ということで担ってきた大切な建物である。単純に潰してほしくはない。いろんなアイデアをいただきながら、より良い方向に向かってほしいが、8月下旬という期間は短いのでは。

【事務局】

6月21日から8月30日までの約2か月間で市民の皆様からアイデアをいただければと思っている。

**【委員】**

現在豊田地域の小さな拠点の話合いの中で学校の利活用について検討し始めており、8月末までには意見がまとまらないと考えている。

**【総務部長】**

市民アイデアと一緒に民間事業者からも10月末まで募集しており、アイデアの募集結果を市民に公表する。また、アイデア以外に行政でも検討をしている。その結果をまとめたうえで1月から2月にかけて市民説明会を予定している。そのようなことも含めた中で、今年度中に利活用の方針を決定していきたい。来年度以降は、例えば民間活用の方針をもとに民間事業者の公募もスタートしたい。アイデアについて、仮に校舎の利活用がない場合、解体も含め決定するまでの間は、ホームページなどを通じて意見等をお聞きする場を設けたいと考えている。

**【委員】**

今までいろいろな説明会にでたが、既に方針が決まっており、説明会の際に後からでた意見は受け入れられないことが多い。住民の意見が取り入れてもらえる説明会にしてほしい。

**【委員】**

学生たちの廃校利用に関する思いが非常に強まっており、廃校の研究をしたいという声が大きくなっている。私が顧問をしているサークルの中で、廃校利用について研究を始めた。彼らは地元である北信地域の学校を地域の産業と絡めて、地域の方々の意見も聞き、10年以上続いているような廃校利用の成功事例を頭にいれながらこの地域にはどんなものが必要かこの小学校は建築物としてどのような価値があるかも含めて研究していきたいと考えているようだ。

学生を含めた話し合いをすることによって地域の方々に納得いただける場があるのかという点と日本語学校の問題、特に農業や工業分野の労働力になってくるといった場合に工業団地を有しさらに農業で有名な中野市ですから、移民の方々がくるのは間違いない。それについて中野市はどのような準備ができているのか、移民が求めるのは住む場所、日本語を勉強する場所、いれてもらえるコミュニティの3つだと考える。その場合、学校を日本語学校にできないものなのか、教職員住宅が10室空いているということも含め、外国からきた方が一時的な住まいとして住むことができないのかお伺いしたい。

**【副市長】**

県立大学とは包括協定を結んでおり、今いただいたご意見を参考にして、多くのアイデアをお寄せいただき、その積み上げを作ったうえで市民説明会をしていきたい。

説明会については、案を持っていったほうが意見などをいただきやすいのかなという

ことで今回はこのようなスケジュールにさせていただいた。説明会をしてこれで決定というようには考えてはいない。

統合準備委員会については、北部は来年の4月に向けて佳境に入る、豊田の準備委員会もここで発注をして入札をしたが、明日契約について議会の議決をいただくようになっている。そのため、統廃合の関係を準備委員会に持っていくと複雑になってしまうためしばらく止めてある。いずれにしても、お話をすると約束をしてあるため何らかの形で意見を聞き、見直すべきところは見直すという姿勢でいる。

豊田地域の小さな拠点については、短い期間でたくさんの会議をしていただき大変ありがたく思っている。また8月5日にもあるが、いろいろ考えていただいたことについては、8月末が期限であってもそれ以降は受け付けないということはしませんので、ぜひ良いアイデアをまとめていただきたいと思います。

**【総務部長】**

日本語学校については、市民からも意見をいただいている。この点も含めて検討させていただく。学生を含めた意見を聞く場については、この場での回答は出来兼ねるがこれについても検討させていただきたい。

**【委員】**

関連で、建物の今後の現状はどうか。ただアイデアをくださいでは抽象的である。具体的な資料が必要である。

**【総務部長】**

現在意見募集として出している資料の中では、建築年月日と構造、耐震診断、改修してきた年度はお示しをしている、そのほか問い合わせ等あれば対応していく。

**【委員】**

6ページ「6 市営住宅使用料等の収納率の向上」について、入居者1名完納したというのだが、どのような理由からか。

**【建設水道部長】**

H28年からH30年の家賃を滞納しており、粘り強く交渉してきた結果、完納していただいたと考えている。

**【委員】**

16ページ「14 市民満足度調査の推進」について、2,000人に調査をかけて615人から回答を得て、満足度が69%しかなかった。満足度の高い自治体では大変満足と満足を含めて8~9割を越えている。中野市の場合は合併があり、不便になったとか身近な施設が

なくなるとかで不満を持っている方はたくさんいるだろうと想像はつくが、主にどんな不満がでてきたのか。

**【事務局】**

16ページ「14 市民満足度調査の推進」の市民満足度のアンケートの内容について、市で行っている各事業を30項目にわけ、満足している、やや満足、普通、やや不満、不満の5項目について採点している。それと同じことについて、これから何が必要かといったことについても、同じ内容で採点をしている。満足度と重要度の点数を表にまとめ、満足度は高くないが重要度が高いエリアに入ってきた内容については、地域が支えあう福祉体制の確立、地域資源を生かした産業の創出、雇用機会の充実と安定、商工業の振興、観光交流の振興、身近な生活基盤の充実、持続可能な財政運営の推進といったところが早急な対応が求められる、市民の方からいただいた内容の集計となっている。

**【副市長】**

資料があるので用意させていただく→別紙資料配布

**【委員】**

市民サービスの満足度は人によって違う。100%を求めるのは無理だと思う。困れば市に頼むという市民の感覚も変えていかなければいけない。行政は市民のために何をするかははっきり示した方がいいと思う。

**【副市長】**

今すぐに変えることはできないが、市民の皆さんに理解をいただきながら、変えられるところは変えていくというような姿勢で事業をしてまいりたい。

**【委員】**

それに関連して、どんな調査の仕方をしたのか。対象年齢は。

**【総務部長】**

調査対象は18歳以上の方2,000人を無作為に抽出し、調査期間は昨年度7月11日から7月29日の間、対象になった方に郵送により送付、郵送またはインターネットによる回答で回収率は30.8%となっている。

**【委員】**

郵送とインターネットでは、どちらの回収率が高かったか。あと、年齢層であまり回収率が良くなかった年齢層は。

### 【事務局】

615人から回収、うちインターネットは24人、残りは紙回収だった。回収した方の年齢層では年配の方ほど回収率が良かった。70歳以上の方の回収率が一番高く、年齢が下がるに従って回収率が低くなっている。

### 【委員】

歳入の確保というのは一番大事であり、自主財源の確保というのが、町をよくするためのパワーのもと、滞納整理や未納金を回収する以外に、新しい産業を生み出すことや活力ある産業をさらに発展させていくこと、人口を増やすことなど収入が増える方策をプランで立てて、この産業の立地に成功した、だからこれだけの収入が増えたという、結局中野市がどのくらい税収が減っていて義務的経費が増えているかということセットで示していかないといけないのではないかと。

### 【総務部長】

これまで中野市の行政改革の視点としては、市の財産であるひと・もの・かね・情報を効率的効果的に活用し行政サービスの質の向上や住民の福祉の増進につなげるということで行革大綱をつくり、その具体的な施策として行政改革プランをご審議していただいている。収入をあげるという点については、市の総合計画と総合戦略と行政改革のセットで進んでいる。

### 【委員】

ここ数年間、中野市の総合計画と総合戦略で行った取り組みで市民に高く評価されており市税が増えたものとはどのようなものか。

### 【副市長】

この地域は農業が基幹産業だということで力を入れている。特にエノキ茸については日本の全体の40%のシェアをもっており200億を超える産業である。シャインマスカットについても全国で他の産地のものより高い評価をいただいている。農協の販売額は300に近い数字を目標にしている。系統内について前年で270、その他の物についても頑張ってもらっている。工業についても中野市で作った製品が宇宙へという製品もある、海外で高く評価をされて、国内の商品につながっているというものもある。これとこれというのはないが、私どももできる限りの応援はさせてもらっている。

### 【委員】

人がいなくなって解体するというのとは一番楽なやり方だが、そうではなく少なくなったらないなりにどのように活用するか、いいところはもっと使うべき、前向きに考えてもらいたい。いいアイデアがでたとしても、採用されないのではないかと、どうしたらよ

い活用ができるか市民にアイデアを聞きより良いものを作ってもらいたい。

## 5 その他

### 【事務局】

今後のスケジュールについて

第3次中野市行政改革集中改革プラン進捗管理シートについて、本日いただいた意見等を踏まえ、事務局で調整を図ったうえで、市公式ホームページにて公表していく。

次回の推進委員会について、令和元年度集中改革プランの中間点検を11月頃に開催する予定。

### 【委員】

補助金の額が事業費の1/2、子どもたちを集めたくさんのボランティアの人にもきてもらっている事業のため収入に見合った事業をすると毎年補助金の額が減ってきているような気がする。携わっている方の気も抜けしまう、市がこれから発展していくには、やる気を持った人に手伝ってもらうことによって市は活気づいてくるのではと思う。補助金をあてにするわけではないが、そういったことが大切かなと思う。それと事務局は市職員にやってもらっているが、市の職員ではなく実行委員自体がやった方がいいのではという意見もある。これをやってしまうと、どんな事業も下火になりやる気もなくなってしまうのではないかと懸念している。考え直してもらうようお願いしたい。

### 【総務部長】

補助金の考え方ですが、限りある財源を有効に、市民協働の推進、補助対象者と市の対等な視点からということで見直しをH29年にさせていただいた。原則1/2を上限とし、交付団体の健全な育成ということで団体の運営費の補助金は廃止、事業費の補助金に転換した。団体運営の補助としては3年、交付の妥当性公益性の観点ということで、公益性や公平性を考慮しながら、サンセット方式ということで1つの補助事業に対して5年を目途で見直し、今後とも補助交付金等については見直しをしていきたい。小林委員からのご意見もあったが、そのような意見を参考に見直しする際は検討していきたい。

### 【委員】

お金もそうだが、人づくりが大切。このへんをよく考えてほしい。

### 【総務部長】

人づくりは重要な問題と考える、その点も踏まえて検討していきたい。

### 【委員】

委員がおっしゃったのは事業主体となっている団体の負担がどんなに大きいか考え

ているのか、持続可能性はない、補助金行政のあり方を見直してほしい、市ではできないこと、県でないとできないこと、国まで言わないとできないこと、政治を変えないとできないことだと思うがそういうところに現場の状況を届けてくれるような中野市であってほしい。

#### 【副会長】

バラまつりの件について、行政がどの程度関わっているのか。駐車場の交通整理をしている方は何人か。お昼の時間帯30分程度1人で駐車料金や公園の案内をしていた。また、今回バラまつりの期間が延長されたことが周知されておらず、地元からの苦情を聞く機会があった。その辺の宣伝の仕方をもっと早めに徹底できれば良かったのでは。

駐車場の交通整理がうまくできずに混乱してしまったり、まつりの終了の後の入場料は無料だが駐車料金は発生するという解釈が理解できずにクレームをつけられていたスタッフもいた。バラまつりの宣伝を兼ねての前もって理解できるようなやり方がないのか。バラまつりはバラ会に全面的に任せているのか、あるいは行政も出向いて指導しているのか。

#### 【建設水道部長】

バラまつりは、バラ会やコーラスをやっている団体の方も入ったバラまつり実行委員会で行っている。事務局は中野市都市計画課に置いている。バラまつり実行委員会の開催や場所の段取りなどは事務局で行っている。バラまつりの期間については前年の9月頃に例年の5月末から2週間ということで先に決定する。今年はかなり遅れたが、その部分を調整するためにバラ会で自主事業として前後の1週間で調整して開催している。それについては市で事務局は持っていない。混乱するのが、料金体系で実行委員会では入場料1人500円、バラ会の自主事業では入場料はとらず、駐車料金1台500円をとっているため、料金の取り方が違いうまくいかない部分がある。市内の方は事前に無料の入場券を配布するがバラ会の自主事業での開催日の駐車料金は無料にはならないため不満もある。バラまつりの前の期間になるか後の期間になるかバラの開花状況をみながら決めるので宣伝期間が長く取れない。市としてもたくさんの方に来場いただきたいためどのような方法があるかバラ会と相談していきたい。

警備の関係だが、バラまつりの実行期間中、警備会社に委託している部分と市の職員が案内としてついている部分がある。警備会社についてはお昼の交代要員はいないため手薄になると思う。市の職員については午前と午後、交代で行っているため手薄になることはない。警備会社に委託しているのはバラまつり実行委員会のため予算の関係もあるかと思うが、市の方からもお願いしていきたい。

## 6 閉会（会長）

終了 16時28分